

鼓膜切開術 / 鼓膜換気チューブ挿入術

目的

鼓膜の奥：中耳にたまつた液を、切開および鼓膜に挿入した管により排液します。
これにより、聴力改善や感染回数が減ることが期待されます。

対象疾患

- 渗出性中耳炎
- 難治性急性中耳炎：長期のまたは繰り返す耳感染がある場合
- 飛行機に乗ったり深い海でダイビングするとき、耳抜きができない人(気圧障害)

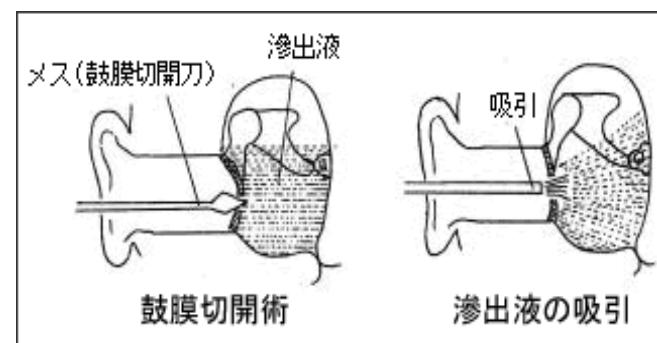
費用(3割負担：投薬料や診察料は別途必要です)

鼓膜切開術+イオン麻酔：¥2200

鼓膜換気チューブ挿入術+イオン麻酔：¥9660

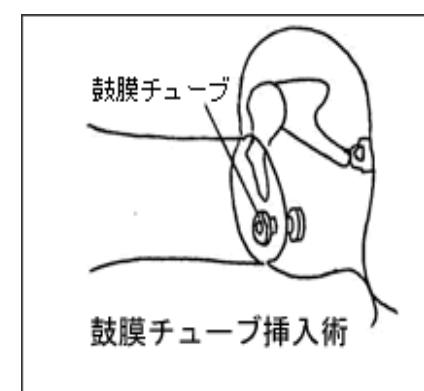
説明

1. イオン麻酔という麻酔をします。ベッドに寝てもらい、耳に麻酔液を入れて弱い電圧をかけて鼓膜に麻酔液を浸透させます。痛みはありません。(約10分)
2. 鼓膜を小さく切開し、たまつた液を吸い出します。このとき痛みはありませんが、バリッという大きな音がします。(10秒くらい)
----- (ここまで鼓膜切開) -----
3. 切開した鼓膜の穴に、換気チューブを挿入します。(約1分)



術後

- お風呂は、耳に水が入らなければかまいません。
- 入浴・洗髪や日常生活程度で耳に少し水が入るのはかまいませんが、水泳やダイビングについては医師にご相談ください。
- 鼓膜切開の場合、鼓膜の穴は1週間程度で自然に閉じます。
- 換気チューブは半年から数年で自然に脱落する場合があります。
脱落後、中耳炎が再発するようなら再手術が必要になることがあります。



危険性とその対応

- 麻酔：キシロカインを使いますので、麻酔薬に対してアレルギーのある人は気分が悪くなったりします。その場合はすぐに中止します。
- 感染：術後耳だれが続くことがあります。抗生素内服、局所処置で対応します。
- 鼓膜穿孔の残存：まれに鼓膜の穴が閉じずに残ってしまうことがあります。(MRSAなどの耐性菌がいる場合、何度も鼓膜切開を繰り返しておられる方、ステロイドの投与を受けておられる方などに多いようです)
その場合、鼓膜穿孔閉鎖術(人工膜を鼓膜に貼る方法や、皮下組織を移植する方法など)が必要になる場合があります。